

区 分	小 学 校			中 学 校			幼 稚 園		高 等 学 校		合 計	
	校数	人 員	%	校数	人 員	%	校数	人 員	校数	人 員	校数	人 員
補食給食	19	8,016	2.9	6	2,740	1.6	2	267			27	11,023
ミルク給食	339	63,160	22.8	163	62,967	36.2	8	850			510	126,977
	(7)	(1,527)		(2)	(954)							
牛乳給食	28	7,062	2.5	100	68,023	39.1					137	77,566
合 計	777	273,206	98.4	323	156,716	90.1	10	1,117	18	4,352	1,128	435,421

() は国立 県立 私立の学校

特に本年度における問題点としては、野菜給食材料の値上がりが甚しく、学校給食所養栄養量の基準確保について学校現場はいろいろ苦勞が多かったことと思われるが、来年度は是非適正給食費の決定により食事内容の充実した給食が実施できるよう努力されたい。

また、牛乳問題についても逐次国からの割当量が増加してきており、本県の酪農振興の立場からも価格等供給方法上若干の問題はあるが、これまた大いにその使用をすすめて行く必要がある。

第2節 学 校 保 健

1 第12回福島県学校保健研究大会

7月6・7日の2日間、喜多方市立第一小学校において開催した。参加人員約1000名、開会式・表彰式・研究発表・講演・分科会などあり、学校保健の理解と深化に役立った。特別講演「学校における精神衛生」と題する東京教育大学教授桂広介氏の講演は学校保健関係者はもちろんのこと一般教員に対し深い感銘をあたえると共に、今後の本県学校保健の推進について大きな示唆をあたえた。

研究主題は「学級における保健活動の進化をはかるにはどのようにするか」とし、校長・保健主事・養護教諭など10分科会に分かれて、各職域別に、それぞれの立場から研究発表ならびに研究討議がおこなわれた。

なお、本大会に県内の学校保健功勞者、県立喜多方高等学校学校医斎藤実氏外9名が、万雷の拍手の裡に表彰され、同時に学校安全優良学校として、船引町立七郷中学校外15校が表彰された。

本会の研究集録を編集し、その内容を県内各学校関係者に配布した。

2 学校保健講習会（学校病予防）

児童生徒が学習しながらもっている学校病のうち寄生虫について絶滅計画を立て、その予防講習会を県衛生検査協会を得て開催した。

期 日	会 場	講 師
11月20日	福島保健所	福島保健所技師 猪俣 浩
6月10日	霊山町掛田小	県立医大教授 高橋 茂
6月30日	二本松市岳下小	県立医大教授 高橋 茂
6月17日	郡山市芳山小	郡山保健所長 中山哲夫
7月17日	鏡石町鏡石一小	県環境衛生技師 斎藤重男
7月14日	白河市四小	白河保健所長 原幸治郎
7月2日	塙町高城小	高城小校医 鈴木直人
7月23日	石川町石川小	県立医大教授 高橋 茂
7月10日	三春町三春中	三春保健所長 太田 馨
6月27日	若松一中	若校保健所長 江幡 勤
8月4日	田島町産業研修所	田島保健所長 籠倉四郎
7月1日	会津坂下町坂下小	坂下保健所長 山内正人
10月20日	葛尾村葛尾中	浪江保健所 馬場道夫
6月17日	小高町小高小	原町保健所長 渡部 正

3 保健主事研修会

県内の全保健主事に対し、学校環境衛生について下記により研修会を開催した。

講師 福島県学校薬剤師会会長 野崎善雄

期 日	会 場	参加人員
10月29日	平市立平第二小学校	95名
10月30日	原町市立原町第一小学校	64名
11月25日	福島市児童館	108名
11月26日	郡山市立芳山小学校	124名
11月27日	会津若松市立第一中学校	88名

4 養護教員研修会

飲護教員の職務内容について理解を深め、その資質の向上をはかる。

期 日	会 場	参加人員
1月26日	福島市児童館	54名
1月27日	郡山市芳山小学校	101名
1月28日	若松市立第一中学校	56名
2月8日	原町市立原町第一小学校	32名
2月9日	平市立平第二小学校	65名